

— 第百貳拾貳号 —

(2013年新春号)

手づくり門松&初売

昨年暮れの12月30日(日)に、衝動的に門松に挑戦しました。

台は登り窯の松の薪です。中央に今年の若竹を斜めに切って3本差し、松を飾ったり蕾の老梅の枝を差したり、千両、万両の花を入れて、笹も数本添えました。

薪のまわりは、ホームセンターで縄束を調達してしっかりと幾重にも巻きました。あっという間に一对完成しましたので、展示場の入り口両脇に据えて、一日元旦のお客様をお待ちしました。手づくりだけにいつまでも見入っていました。縄以外はすべてしん窯窯場周辺の花木で揃えました。やればできるものだと自画自賛しながら、橋口専務のブログにアップしてもらいました。

その甲斐あってか、1月1日(火・祝)は早朝6時半から初売のお客様を門松と共に迎え入れる事ができて、嬉しさもひとしおでした。

以前も、工房の職人さん達と暮れの忙しい時に一緒に創作していました。その時は、薪の下に陶土として必要外の硅砂を敷いていました。

最近はお正月準備も簡素になりました。餅つきもしめ縄づくりも遠い昔の年中行事になってしまいました。唯一、床の間飾りは、女房が受け継いでいます。お米と炭、だいたい、柿、みかん、栗、芋頭、野老(ところ)、塩、昆布などなどそれぞれ縁起をかついでおめでたい物を集めて、鉢に入れて床の間に置きます。いわれを聞いてなるほどと思い、先人の教えにならって、来年へ向けて商売繁盛、家族繁栄、五穀豊穰を祈願しています。



年の初めに

毎年、年頭の誓いをたてます。今年も1月1日（火・祝）に昨年の反省をふまえて同じ事でもまたたてます。

毎年トップは年中無休、1日も休まないです。健康管理、自己管理が何が何でも一番です。今年は残念ながら正月3日（木）に早くもダウン、7日（月）の車おろし（仕事始め）はさすがに気力で務めあげましたが、翌日またダウン。20日正月も過ぎて、ようやくペースが戻ってきました。職人さんたちは、凍結した日や大雪の日も、30分も1時間もかけていつもより早く歩いて出勤されます。自宅から工房まで歩いて1分の場所なのに、朝の清掃や体操や朝礼に参加できないので閉口します。

話は変わりますが、首相の一日を読んでいると、超人的な行動日程でありタフな心身に感服です。同じ人間ですが、背負うモノが大きいと休んでなんかおれません。昔40代の頃、首相の日程を参考にして予定を組んで三日坊主に終わった事を思い出して、苦笑いしていました。心と身体のタフさは持って生まれたものではないのに、鍛えて自信を持つまでは人並みはずれた努力が必要なのでしょう。

努力は天才に勝る

雨だれ石を穿つ

ローマは一日にしてならず

ちりも積もれば山となる

など、先生や親や先輩や友人たちから教えられているにもかかわらず、実践実行する事の難しさを痛感しています。

1日1通自筆の手紙を書く事は達成しました。今年は苦手な読書に挑戦です。毎月10冊読むを掲げています。来年の1月1日が楽しみです。

OGさんぞくぞく来訪！

お正月早々、今月はしん窯OG（old girl）の来訪が多く驚いています。OGといっても、まだ40代女盛りです。しん窯で職人として絵筆をふるっていましたが、結婚して遠くは関東へお嫁に行って、いわゆる寿退社です。子供連れだったり、独りで工房訪問をして、私たちに会いに来てくれます。当然、今昔物語に終始しますが、タイムレコーダーのカードが彼女達の現役の頃に比べて減っている事を心配してくれました。やきもの氷河期ですから少数精鋭で耐え忍んで連綿と炎を燃やし続けるしか方法がないと言いながら、嫁いだ先で有田焼や青花ブランド自慢など、生活文化向上のために作り手に代わって情報発信をしますますやきものファンを増やしていただくよう懇願しました。

お客様からのお便り

(M・S様より)

前略

先日は熱いお心のこもったお手紙を頂戴致しまして恐縮でございます。何だか気楽に送らせて頂いた徳利でしたのに、大事になってしまい申し訳ありません。でも、真剣にお受け止め下さり、全くの素人の私にも分かりやすく説明して頂けて本当に嬉しかったです。

私と青花との出会いは十五年程前になりますでしょうか、お友達のお宅で出された湯呑と急須に一目惚れ致しました。それ以来、主人と夏・冬のボーナス毎に少しずつ、焦らず無理せずコツコツと集めるのが楽しみになり、気付いてみると食器棚のほとんどが大好きな青花になりました。今では優しい藍色とかわいらしい異人さん(紅毛人)の絵柄の器は、我家で欠くことの出来ない存在です。何十年経っても丈夫で飽きることがない食器に巡り会えた事は本当に幸せです。これからも青花ファンの一人として末永く愛用させて頂きたいと思っております。

どうぞ寒さ厳しい折、ご自愛下さいませ。

二月にお送り頂ける徳利を楽しみにしております。

かしこ

イベントのお知らせ

◎ テーブルウェア・フェスティバル2013～暮らしを彩る器展～

2月4日(月)～11日(月・祝) 東京ドーム

◎ 第9回有田雛のやきものまつり

2月9日(土)～3月20日(水・祝)
有田町内

◎ 橋口博之作陶展

3月13日(水)～19日(火)
三越日本橋本店

◎ 春の陶器市

4月28日(日)～5月5日(日・祝)



昨年の春の陶器市より

第9回有田雛のやきものまつり

第9回有田雛のやきものまつりが2月9日（土）～3月20日（水・祝）、今年も有田町内のウィンドーや有田館やしん窯等で飾られます。同様のイベントが瀬戸でも行われ、東西のやきものひな人形饗宴で華やかになりそうです。おとなりの柳川では、伝統のさげもん飾りが紙面を賑わしていました。

今年も、しん窯作労作の七段飾り（高さ約255cm、幅約184cm、奥行き約330cm）の超大型作品が、有田町札の辻有田館2階に登場します。

今年のポスターの雄びな雌びなは、しん窯自慢の認定伝統工芸士のひとり、上絵付部門の角康則（50）作で、気品があって愛らしい表情はいつまでも飽きないとお客様からお褒めをいただきます。ぜひ有田館、しん窯へ足を運んでご対面下さい。



訃報

しん窯中興の祖、故七代目梶原太郎の妻綾子（しん窯社長茂弘の母）が、1月27日夜9時30分永眠致しました。

生前は、皆さまに大変お世話になりました。ご厚情に感謝致します。